（昭和五年三月廿一日第三種郵便物認可）　【日刊】　昭和九年三月三十一日　新いわき　【土曜日】　第二千百四十二號　（一）

三月三十日　夕刊

休日　日曜祭日
二十五錢
一ヶ月　郵稅十五錢　一部二錢
廣告料　一行四十錢
場所指定　貳拾錢增
發行兼編輯印刷人　牛谷政吉
發行所　福島縣平町大町二三　新いわき新聞社

鑛區に對する平町會

果して何れを取るか

答申案の決定は來四月末頃らし

重大視される其の動向

平町地下の石炭鑛區出願に對する諮問答申は一般町民にも頗る重大視され町當局では遲くも來四月末頃までに賛否を決して答申すべく意向の下に申案作製のため頭を絞つてゐる同問題に對して可否何れとも口外しない青沼町長の胸裡を窺ふ由はないが假りに石炭鑛區差支なしと云ふ肚であるとしても從來反對を續けて來た行き掛り上自ら賛成の態度はとらないらしく町會に可否を問ふ以前にかて委員會に愼重なる審議を經たる後原案を定めて町會に臨むものと見られてゐるが町議の多數が其の何れに向くであらうか諮問に關する重大な點は

地下二千尺內外の採堀と云ふ事によつて地表に障害なしと斷じ得ないこと、

地表に障害あるとしても少なからうと見られること、

假りに障害が少ないと見てあつた場合はどうなるか、

法規の示す所によつて其の損害は當然炭鑛の責に任ぜられる、

次は鑛山監督局が平町の反對を理由なきものとして果して退け得るかどうか、

平町の不動意を認むる所なく許可された場合町は行政訴訟まで起すかどうか、此の場合地表に多少の障害を憂慮されるものあるにしても鑛産稅その他炭鑛の機業等によつて町の財的幸福によつたものかどうかの諸點とされてゐる面して炭鑛が地上の障害に責任を負ふものとしても會社そのものゝ存在する限りであることは覺悟せねばならず都市計畫を進めてもゐる將來に對しての影響をも考慮せねばならぬ筈であつて地表の馳級陷沒の防止に處する充塡の如きは炭鑛の經營上完全に履行し得るものとは想はれず此の賛否に對する町會の能度は眞に重大視されるものとなつた

常識講座

物價指數

物價指數とは或るきまつた時期の物價を基準に其れを百と定め、百分率によつて其の後の物價の騰落を數字で現はしたもの、日銀の卸賣、小賣物價指數を始め各種物價指數はそれ

石城産業部會の役員會

石城産業部會では去る二十四日平町マルトモホールに評議員會を開き九年度豫算千七百四十一圓（前年より七〇圓增）七年度決算千四百廿三圓七十六錢（十四廿九錢次年度繰越）及び新年度の事業計畫に就て實地指導方法、視察、事務研究會、講演懇話會、印刷物配付、功勞者表彰等を付議した

普門寺總代改選

平町北目町普門寺總代人の改選は其程行はれたが當選如左

新井滋藏　鈴木武彌　猪狩彌作　猪狩久九郎（以上）

函館の義捐金は町村を經て

函館市の大火災に對しては各地から非常な同情をよせられてゐるが同市への義捐金を函館市役所又は道廳に送付されるはあるも右は必ず市町村分を取纏め縣社會課宛に送られる筈にとのことである

運轉手の持物をそつくり盜む

栃木縣那須郡須賀川村の南方一五二當時住所不定無職小林三郎（三四）は窃盜起訴猶豫中のものであるが此の程石城郡飯野村の上荒川大河原自動車運轉手白島治行所有の背廣服一着上下竝廿九圓及び深ゴム靴一足一圓五十錢、襟卷一本二圓二十錢、運轉帽子一個五十錢を窃取逃走して植田町を徘徊してゐた去る二十八日平署員に逮捕された

小川江筋組合の豫算總會

石城郡小川江組合では今三十日午前十時から平町關係事務所內に於て總會を開き昭和九年の歲入出豫算二萬六千七十三圓その他改修工事施行に伴ふ附帶事項に關して協議を遂げた

警察及び警部補に

今月日大異動發表

廿六名の動き次は巡査部長

縣下警察官の異動は豫ねて噂されてゐたが今三十日午前十時警部及び警部補の異動を發表された今回の動きは相當廣範圍に亘り其數實に二十六名に及ぶものであつて今後は巡査部長の異動を發表される筈になつてゐるが署長の異動は石城郡下に於ては植田の佐藤署長が富岡署へ共の後任に縣警務課から片寄警部が移り四倉署長根本警部補は梁川署へ北任は久吹署長亂飾警部補は豫ねて噂されてゐたが今三十日午前十時警部及び警部補の異動を發表された今回の動きは相當廣範圍に亘り其數實に二十六名に及ぶものであつて今後は巡査部長の異動を發表される筈になつてゐるが署長の異動は石城郡下に於ては植田の佐藤署長が富岡署へ共の後任に縣警務課から片寄警部が移り四倉署長根本警部補は梁川署へ北任は久吹署長亂飾警部補は豫ねて噂されてゐたが今三十日午前十時警部及び警部補の異動を發表された今回の動きは相當廣範圍に亘り其數實に二十六名に及ぶものであつて今後は巡査部長の異動を發表される筈になつてゐるが署長の異動は石城郡下に於ては植田の佐藤署長が富岡署へ共の後任に縣警務課から片寄警部が移り四倉署長根本警部補は梁川署へ北任は久吹署長亂飾警部補は豫ねて噂されてゐたが今三十日午前十時警部及び警部補の異動を發表された今回の動きは相當廣範圍に亘り其數實に二十六名に及ぶものであつて今後は巡査部長の異動を發表される筈になつてゐるが署長の異動は石城郡下に於ては植田の佐藤署長が富岡署へ共の後任に縣警務課から片寄警部が移り四倉署長根本警部補は梁川署へ共の後任は久吹署長亂飾警部補が來ることになつた平署では司法主任の菊地警部補と小名濱派出所の渡邊警部補が入れ替へになつたゞけで渡通りでは浪江原及び中村何れにも動きがない因に異動關係を左ぐれば左記の如くである

本宮署長阿久津警部補縣保安課へ　梁川同板垣警部補同本宮へ　四倉同根本同梁川部補に昇進郡山へ（以上）

白河同木田警部三春へ　縣警務課片寄同植田へ　植田同佐藤同富岡へ　石川同星同縣警察官練習所教官　川俣同猪崎同石川へ　富岡同久和同坂下へ　坂下同平田同川俣へ　縣保安課平間警部縣警務課へ　縣衛生課大久保警部補縣刑事課へ　平署菊地警部補小名濱へ　小名濱派出所渡邊同平署へ　川口派出所白井同常盤縣警務課鈴木警部補福島署へ　白河同常盤川俣同猪崎同石川へ　富岡同久和同坂下へ　坂下同平田同川俣へ　縣保安課平間警部縣警務課へ　縣衛生課大久保警部補縣刑事課へ　平署菊地警部補小名濱へ　小名濱派出所渡邊同平署へ　川口派出所白井同常盤縣警務課鈴木警部補福島署へ　若松署若松警部補山口派出所へ　福島署西條警部補若松へ　矢吹署玉虫警部補四倉へ　縣刑事課藤田同矢吹へ　特高課吉田同保安課へ　郡山署根田同特高課へ　警務課猪狩同若松へ　須賀川署長八巻警部白河へ　三春同田口同須賀川へ　特高課長澤部長警部補縣保安課へ　梁川同板垣警部補同本宮へ　四倉同根本同梁川へ　白河同木田警部三春へ　縣警務課片寄同植田へ　植田同佐藤同富岡へ　石川同星同縣警察官練習所教官　川俣同猪崎同石川へ　富岡同久和同坂下へ　坂下同平田同川俣へ　縣保安課平間警部縣警務課へ　縣衛生課大久保警部補縣刑事課へ　平署菊地警部補小名濱へ　小名濱派出所渡邊同平署へ　川口派出所白井同常盤縣警務課鈴木警部補福島署へ　若松署若松警部補山口派出所へ　福島署西條警部補若松へ　矢吹署玉虫警部補四倉へ　縣刑事課藤田同矢吹へ　特高課吉田同保安課へ　郡山署根田同特高課へ　警務課猪狩同若松へ　須賀川署長八巻警部白河へ　三春同田口同須賀川へ　特高課長澤部長警部補に昇進郡山へ（以上）

石城産業部會の役員會

石城産業部會では去る二十四日平町マルトモホールに評議員會を開き九年度豫算千七百四十一圓（前年より七〇圓增）七年度決算千四百廿三圓七十六錢（十四廿九錢次年度繰越）及び新年度の事業計畫に就て實地指導方法、視察、事務研究會、講演懇話會、印刷物配付、功勞者表彰等を付議した

普門寺總代改選

平町北目町普門寺總代人の改選は其程行はれたが當選如左

新井滋藏　鈴木武彌　猪狩彌作　猪狩久九郎（以上）

函館の義捐金は町村を經て

函館市の大火災に對しては各地から非常な同情をよせられてゐるが同市への義捐金を函館市役所又は道廳に送付されるはあるも右は必ず市町村分を取纏め縣社會課宛に送られる筈にとのことである

運轉手の持物をそつくり盜む

栃木縣那須郡須賀川村の南方一五二當時住所不定無職小林三郎（三四）は窃盜起訴猶豫中のものであるが此の程石城郡飯野村の上荒川大河原自動車運轉手白島治行所有の背廣服一着上下竝廿九圓及び深ゴム靴一足一圓五十錢、襟卷一本二圓二十錢、運轉帽子一個五十錢を窃取逃走して植田町を徘徊してゐた去る二十八日平署員に逮捕された

小川江筋組合の豫算總會

石城郡小川江組合では今三十日午前十時から平町關係事務所內に於て總會を開き昭和九年の歲入出豫算二萬六千七十三圓その他改修工事施行に伴ふ附帶事項に關して協議を遂げた

磐女合格者

◎壹組

豐田實穗枝　坂本シケ　林部フヨ　今井トミ子　高澤ユキ　吉田トシ子　千葉ミツ　新妻ヨシ　織田芳枝　南波ユキ子　松井靜江　新妻文子　田子トク　綿崎球榮　中村茂　大越セツ子　中村切子　大森愛子　塙一子　大越ワカ　本多サダ　吉田キヨ子　大谷登志子　森山文子　横田ほぎ　鯨岡富子　久松郁子　菅波美江子　猪狩アイ　草野花子　根本クラヨ　小野マサ子　遠藤靜枝　大須賀ユキ子　芳賀英子　猪狩靜子　里見喜　金田勝子　草野貞子　佐藤みゆき　田口トシ　丹野千鶴加美山みや　正木千鶴子

◎貳組

菊地清子　遠藤チイ　大泉經子　小宅ヒナ　木田タカ　佐藤スミ　長橋イト子　星八重子　國府田シゲ　石井埼子　小野淺子　江川照子　大平ヤス子　大高貞子　鵜沼トシ子　丹フサ　西山チエコ　下山田アイ　鈴木チヨ　中野弘子　鈴木トヨコ　田村とみ子　大門則子　佐藤不二子

◎四組

柳生榮子　青木俊子　瀧布美子　木田庫子　長瀬埼子　春川チカ　丹下美江子　和田多美子　藤內葉來　瀧致子　山崎寮子　山內君子　丹伊勢子　增澤チヨ　田村フミ　柴田ちゑ　若松キヨエ　井上和子　鈴木千代子　白井ツル子　押田慶子　吉田康子　太田晶子　山崎綾子　小林ナヲ　馬場トシ　西山繁子　五十右剛子　江尻ミヤ子　片岡久榮　矢野澄枝　清野とし　馬目英子　關口君子　下島キヨ子　木田アイ　花澤富美子　中島多美　菅波ユキ　楢木コウ　大和田智惠子　村上富子　加澤アキ　高萩秀　比佐ヨネ　高木政子　川又ヨシ　吉田禎子　高田秋子　鈴木登美子

◎參組

藤葉ヒサ子　水野サト　駒木根敬子　松崎悅　馬目モト子　高階寧　片岡菊榮　山部美枝子　儀島政子　鈴木リツ　吉田みゑ　岡田幸子　江尻クニ子　高木綾子　鎌田キミ　宗像ミヤ　鈴木よし　牧野きよ　草野マサヨ　北村琴子　中村光　長谷川信子　折笠紀子　鈴木榮子　大塚みさ子　渡邊正子　上岡　〃　二組鈴木滿男　大谷繁雄　小國井邦男　藤田文朗　水野敏夫　横山榮一　中島恒　小谷半四郎　鈴木建助　〃　三組岡田幸平　牧野好夫　鍋田三省　橋本壽　唯野信　渡邊通　高橋喜政　渡邊義國　村田賢德　〃　四組松本英一　石川榮一　大塚寔　關原進　豐田聰明　武田邦彦　大平泰助　酒井　草野哲子　佐藤妙子　伊藤恭子　村田ユキ子　鈴木延枝　小野光子

◎貳組

佐々木榮子　砂田廣　鈴木サチ子　柴田喜美子　小野即子　横田キエ　佐藤仲　岡谷雖子　齊藤緑子　久保年　管野文子　鈴木知代子　渡邊岩子　新妻ヤツ子　加澤トク　綿崎徹　鈴木安子　若松イヨ　鯨岡アイ　中津アヤ　安藤千枝　鵜沼アイ子　今田操　佐藤トヨ子　藤沼里子　武子トシ　桐谷つね　渡邊民江　廣川ミサヲ　三輪貞子　藤井幸江　小野百合子　石山小夜子　安龍トミ　荒木友子　吉田愛子　鈴木幸子　渡邊富子　猪狩喜美子　江尻峰子　桑原ハツノ　阿部リヨ　樋口すみ　宮下眞佐　四家綱子　邊見ヒサ　松本秀子　橋谷田壽子　小野不二　坂本アエ

◎參組

藤葉ヒサ子　水野サト　駒木根敬子　松崎悅　馬目モト子　高階寧　片岡菊榮　山部美枝子　儀島政子　鈴木リツ　吉田みゑ　岡田幸子　江尻クニ子　高木綾子　鎌田キミ　宗像ミヤ　鈴木よし　牧野きよ　草野マサヨ　北村琴子　中村光　長谷川信子　折笠紀子　鈴木榮子　大塚みさ子　渡邊正子

平小學優等生

（六）第一小學校の分

◇尋二の四吉田利雄　山崎靖夫　石田吉男　樋口博衛　長谷川雅明　上澤成男　齋藤博　吉村三郎　星大　小林茂

◇尋三の一小野晃平　酒井健　中澤幹太郎　清水俊政　柴田泰雄　片寄武夫　馬目欣之助　吉田敬治　磯平　薄葉忠久

◇尋四の一　三井眞一　櫻井博　遠藤好一　木下藤三　高階仁　飯沼賢一　飛田常重　齋藤修三　坂內亨　齋藤齋　〃　二組松本眞平　正木秀夫　山崎常三郎　渡邊弘道　戸石雄二　新妻幸男　〃　四吉江一行　若松謙彦　佐藤賢治　鈴木重雄　〃　三組鮫島登司　小松崎正邦　飯島登司　小松崎

◇尋五の一管木進　佐々木高滋　清水重政　篠山達兒　市毛英德　馬目智夫　伊藤康夫　北林唯雄　〃　二組杉本光男　安藤破魔大　千葉富彦　吉田博　牛谷正文　水谷武雄　坂本秀雄　馬目順　富夫　會澤三郎　門馬政衛　小谷由男　新妻唯男　牛谷英二　諸橋英二　永野節

精神病者の自殺

石城郡上小川村の上小川字中小川一一戸主裏二の母鈴木いち（四二）は數年前から精神に異狀を來たし家人の監守中であつたが去る二十八日午後五時頃行方不明となり所在捜索中のところ昨二十九日午前十時自宅から約二丁程を距つ中川に投身自殺しゐるのを發見し署平の檢視を受けた

不正小物商に營業禁止

平町字長橋町の古物商佐川朝司（四三）及び石城郡內郷村の宮字金坂居住古物商細谷正二（三三）並びに同村字高坂舘野古物商由山金平（四〇）は古物商違反贓物故買のため懲役となり最近出所したが本縣知事から營業を禁止された

運炭夫の窃盜

石城郡下小川村の柴原字谷下